

2014年11月  
No.14-142a(山)

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素は格別のお引き立てを頂き、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、食中毒など細菌性下痢症を疑う検体の検査内容について、下記のとおり変更を行うこといたしましたので、取り急ぎご案内する次第です。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。  
敬具

### 記

#### ■ 変更内容

頁	項目コード	検査項目	変更箇所	新	旧
171	9002	培養・同定	陰性時 報告形式	腸管出血性大腸菌 (EHEC) (-) のみ	腸管出血性大腸菌 (EHEC) (-) Escherichia coli O157(-)
171	9030	大腸菌血清型別	検査実施 算定要件	腸管出血性大腸菌(+)のとき	大腸菌(+)のとき

#### ＜変更する背景＞

上段: Escherichia coli O157 は腸管出血性大腸菌群に含まれるため、表現を統合いたします。

下段: 臨床的には、大腸菌の血清型別ではなく、ベロ毒素産生菌であるか否かが重要です。このため弊社では、ご依頼内容に関わらず、監視培養以外の便検体では赤痢、サルモネラ(腸チフス・パラチフス含む)、腸管出血性大腸菌、ビブリオ(コレラ含む)、プレシオモナス・シゲロイデス、アエロモナスに関する検査を実施しています。

これまで大腸菌血清型別は、大腸菌(+)の場合にご要望に応じて実施しておりましたが、腸管出血性大腸菌(+)の場合にご要望に応じて実施に変更させていただきます。

#### ■ 変更期日

2014年11月25日(火)受付日分より

以上